YASUDA SANGYO GROUP

グループ10社

環境を整えた。

ポイントとなったの

プ・ピット・サービ

車両整備

捉えている。

革の、ブェーズー、と

の施策は、

あくまで改 「今春まで いく考えだ。同社の安

業体への改革を進めて

を推進し、先進的な企 拡張といった設備投資 sへのコミットメン

ト、淀配車センターの



循環経済新聞様に弊社安田産業グループの 紹介を掲載していただきました

1/25(月)発行された、循 環経済新聞様に弊社安 田産業グループの紹介 を掲載していただきました のでご紹介いたします。 記事内では、昨年より 度々ご紹介している弊社 事務所のフリーアドレス 化や、4月の実装へ向け 開発を進めている自社シ ステムについてもご紹介

いただいております。 是非ご一読ください。

聞 1月25日 (月曜日) (令和3年) 2021年

収集運搬・中間処理を し、働き方改革を推進 こともに社内システム 一ケーションを円滑化 同社は一廃・産廃の 社内のコミュ 席を自由に利用。 定デスクを設けず、従 ス化も含め、 ィス内であればどこか ス化では、 今回のフリーアドレ

た休憩スペースなども ス、半個室の集中作業 うミーティングスペー ゲットの一つであるデ 用意。SDGsのター の打ち合わせなどに使 ィーセントワークを意 人ペース、常時開放し るとともに、 報共有を可能とした。 能な大型モニターも設 スにはタッチ操作が可 体制を整えた。 を一元的に管理できる は車両管理部を発足す めており、昨年6月に 社内体制の刷新も進 直感的で素早い情 一安田産業グル

化の速い時代に対応す 然災害の頻発など、変 した中、SDGsへの 自 車両管理、 施設での処

でも、リコー製の電

ホワイトボードも導て

4月をめど

事業を展開中だ。

コミットメントや、

顧客情報や ムを開発。 基幹システ もと社内の

やすい体制を整えた。 PS間で情報を共有

との他にも、

SDG

売するなど、多角的に ディングした野菜を販

IT活用しフリーアドレ

ス化

今春めどに社内システム刷新

安田産

とを切り公 がある業務 介する必要 業務と人が 業の協力 解決できる システムで を開始している。こ 理の状態を社内システ 両に掛かるコストを削

統括事業本部オフィス フリーアドレス化した

53)は、 り組む安田産業(京都 の改革を進める。統括 に新たな事業体制を整 075 • 604 • 53 **垂本部の全フロアを** 、先進的な企業体 安田奉春社長、